



第33号

令和4年2月28日発行
発行/岩手県立岩泉高等学校同窓会
印刷/有限会社宮古プリント
TEL 0193-62-2453 FAX 0193-64-0755

地域と共に



同窓会長
三田地 泰正

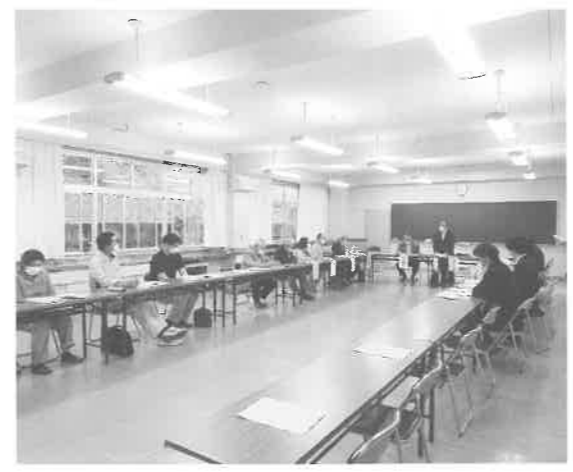
同窓会の皆様方には新しい年を迎え、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より県立岩泉高等学校の教育活動、学校経営に深いご理解と厚いご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

今年の干支は寅であり、寅には『動』の意味があるといえます。コロナ禍でさまざまな活動が停滞し、学校の境域活動にも支障が生じた状況を踏まえながら、新型コロナウイルスの感染状況には慎重かつ丁寧に対応しつつ、学校が『動き出す』年としたものです。

本年は高校におけるスクールポリシーの公表、新学習指導要領、観点別評価の実施、『GIGAスクール構想』に基づく1人1台端末の活用など新しい教育が始まります。感染力の強いオミクロン株の発生により引き続き今後が見通しづらい現状ですが、人間の予測を超えた社会的変化の中でも、他社と共同して力強く未来を切り開く力を育成することが求められています。コロナ禍において生徒には様々な負担があったと思えます。吉川校長先生はじめ、教育現場にたずさわる先生方、関係各位が命と健康を守り、学習機会を確保するために大

変なご尽力をいただいたことに深く感謝と敬意を表します。地域では相次ぐ災害の復旧工事が進められ、復興へ少しずつ変化が見えてきました。

岩泉町は、岩泉・田野畑地域唯一の県立高校がさらに魅力と特色ある学校になるよう町を挙げて支援しています。これまでも生徒に対する通学費の補助、『ドリムサポート事業』入寮生に対する支援、経済的理由などにより大学進学が困難な生徒に対して、入学金及び在学中の授業料の一部補助、給食の実施など全町民を挙げて本校のさらなる振興、存続に努めています。町からの多くの支援事業は、教育の機会均等、生徒1人ひとりが夢の実現へ向かい努力できる環境を保障してくれています。地域とのつながりを日頃から大切にしていることが、周囲の方々から本校への様々なサポートを頂くことにつながっているのだと思います。地域と学校の連携は、限られた地域資源の中で、課題を解決し地域をいかに良くしていくかという協働の取り組みでありSDGsのための一方策ではないでしょうか。今後も町民、同窓会、関係者各位の活動を通して、本校創立80周年に向け取り組んで参ります。未来を担う生徒が本校の伝統、文化に立脚した質の高い教育をうけることのできる教育環境の整備、充実に向けて努めて参ります。日々教壇に立たれる先生方には感染症対策をして、安心して教壇に立っていただく事が必要だと思っております。コロナ禍の生活設計で、現状の大都市への極端な集中を地方へ分散していく流れを作るため『地元でこそ、より良い教育環



境が得られる』と子育て世代が判断できる体制を整えることです。1人ひとりが人間力をつけ、それぞれの能力を伸ばし、生きがいを持ち輝ける校風が大事だと思います。目まぐるしい年度末を終え、新年度はさすがにいい気持ちとともに、不安を抱いている方も少なくないと思います。その不安は決して不自然なものではなく、卒業や入学、新年度の区切りは、何かを始めるためにあるものといえます。

今年は4月1日から成人となる年齢が20歳から18歳へと引き下げられ、成人となる生徒が始める高校を中心に自立に向けた授業や支援に力を入れるよう求められます。

結びに、皆様方にとりまして健康で幸多き年となりますよう、感染症が大きく広がらないようお願いしつつ、干支にふさわしい年になることを心から祈念申し上げます。

同窓会報

ご挨拶



校長
吉川 彰彦

同窓会の皆様から頂戴している本校への様々なご支援に対し、衷心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症への対応も2年となりますが、生徒職員共に、油断することなく対策を日々継続しながら、学業や部活動に真摯に取り組んでおりますことをご報告します。

【今年度の状況】

4月8日に46名の新入生を迎え、現在各学年2クラス、計6クラスの全校生徒数133名(男子59名・女子74名)が在籍しています。生徒数減少による学級減の危機という課題はありますが、令和3年で岩泉高校は創立78年を迎え、「文武両道に励み、礼節と勤労を尊ぶ」校風が脈々と受け継がれ、同窓生や地域から多くの期待とご支援をいただきながら、「地域を支え、地域に支えられる学校」として、町になくてはならない唯一の高校として、存在価値を高めていると自負しております。

【部活動の好成績】

昨年度コロナのために中止となった高校総体等の大会は、観客の制限等があったものの今年度は開催できました。3年生にとって最後の大会に出場することが出来、本当に良かったと思います。大会結果の詳細は別ページありますのでご覧ください。県の上位成

績としては、陸上競技部の坂根脩雅君が県民体育大会の3000m競歩で第2位となりました。また、県高総文祭の郷土芸能部門において、本校の郷土芸能同好会『中野七頭舞』が見事、優秀賞を受賞し、今年の夏に東京で開催される全国大会への出場権を獲得しました。過去3年はあと一歩というところで全国切符を逃し続けており、今年は先輩方の悔しさを見事晴らしてくれました。昨年度からコロナの影響で様々なイベントが中止になり、本校の郷土芸能同好会も練習した成果を披露する機会が減り、人に見ていただく経験や自分たちの踊りを点検する機会が減少してしまっただけで、素晴らしい成績でした。生徒諸君の頑張りはもちろんのこと、ご協力いただいた保護者やご指導いただいたコーチ、そして応援いただいている地域の方々に深く感謝いたします。

【修学旅行】

昨年度は中止せざるを得なかった修学旅行ですが、今年度は行先を青森、岩手に変更し、3泊4日を実施することが出来ました。旅行に行く前は、行き先が近場になったことで期待感が今一つだった生徒もいたようですが、十和田市現代美術館などの見学に加え、各種体験や講演など(三沢航空科学館、北日本カレッジ、弘前大学、グルージャ、紫波オガール、大槌震災学習)、内容が工夫されていたため、帰校後の生徒の顔には充実感があふれていました。実施できて本当に良かったです。

【KI-ZUKIプロジェクト】

5年目となった探究活動『KI-ZUKIプロジェクト』は、泉高祭が校内発表のみとなり、保護者や地域の方に對しての発表が出来ませんでした。岩手大学で行われた「地域防災セミナー」に、2年の堀切川繭羅さんと一本柳璃子さんが出場し、KI-ZUKIで取り組んだ防災についての発表を行いました。堀切川さんは、宮古市の「宮古地区学生研究・意見発表会」にも出場しました。どちらの発表会でも、多くの方を前に、落ち着いた態度で立派に発表することが出来、「KI-ZUKIプロジェクト」で培われた主体性や考える力、伝える力が、本校の生徒を確実に成長させていることを確認することができました。

今年もコロナの影響で思うように活動出来ないこともありましたが、これまでの経験に加え、新しい情報機器等も活用しながら、激動の未来に対応する生きる力をつけるため、泉高の後輩たちが頑張っています。今後とも同窓生の方々から、熱いご支援をいただければ幸いに存じます。



令和三年度

同窓会総会 開催

- 期日 令和三年六月九日(水)
- 会場 岩泉高等学校会議室
- 参加者 一七名

(同窓生九名 教職員八名)
※懇親会は開催せず。

昨年度は集合形式による同窓会活動の中止を余儀なくされた年でしたが、今年度は出席者数に制限をかけたつつ同窓会総会を開催することができました。消毒・マスク等々の感染症対策を万全にしたうえで会議となりましたが、コロナ禍の中で一年越しに再会でき、胸を撫でおろしています。

今年度は岩泉町教育長様にも御出席いただきました。岩泉町の児童生徒に関わる現状等についての説明があり、これからの岩泉高校について激励の言葉をいただきました。また総会においては、台風一〇号の被害から五年の歳月が経過したことを受けて、在校生一人一人の防災備蓄の購入を決議いただきました。現在、備蓄品はセミナーハウスに保管しております。自然災害も増加傾向にある昨今の状況下、おかげさまで在校生一同備えのある安心した学校生活を送ることができています。

併せて、今回は八〇周年記念事業協賛会設立準備委員会の立ち上げも行い、同日行われた教育振興会総会にて、八〇周年事業に向けての足並みを揃えることができました。

未だ収束が見通せないコロナ禍において不透明な部分も多々ございますが、今後の同窓会の運営につきましては新型コロナウイルスの状況を勘案しながら、会員の皆様の御意見を伺い、慎重に進めて参る所存でございます。

来年度も会員の皆様のご協力をよろしくお願いたします。

令和3年度 進路関係合格状況

令和4年2月1日現在

【進学】

●私立大学

盛岡大学 文学部 日本文学科
東北学院大学 経済学部 経済学科
仙台大学 体育学部 体育学科
尚絅学院大学 心理・教育学群 子ども学類
大東文化大学 文学部 歴史文化学科
八戸工業大学 工学部 工学科

●職業能力開発機関

いわて林業アカデミー 研修生(3)
岩手県立産業技術短期大学校 建築科

●医療系専門学校

岩手県立宮古高等看護学院
岩手看護専門学校
盛岡准看護学院
岩手リハビリテーション学院 理学療法科
岩手リハビリテーション学院 作業療法科
岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生科

●各種専門学校

盛岡医療福祉スポーツ専門学校 柔道整復学科
盛岡ヘアメイク専門学校 美容科
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 製菓衛生士科
北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 高度調理科
北日本ヘア・スタイリストカレッジ 美容科
東京デザインテクノロジーセンター専門学校 スーパーIT科
秀林外語専門学校 韓国語科

【就職】

●民間(管内)

日本郵便 株式会社 東北支社 (小川郵便局)
岩泉ホールディングス 株式会社
株式会社 岩泉きこ産業
株式会社 岩泉電工
社団医療法人 緑川会 (ふれんどりー岩泉)
株式会社 甘竹田野畑 (2)
丸奥自動車工業 株式会社

●民間(県内)

株式会社 IJTT 北上工場
キオクシア岩手 株式会社
株式会社 回進堂
白石食品工業 株式会社
株式会社 ベルジョイス
有限会社 スリーエス

●民間(県外)

株式会社 ココスナカムラ

●公務員

岩手県警察
岩泉町役場 (2)

令和3年度 部活動成績

硬式野球部

◆第68回春季東北地区高等学校野球選手権大会沿岸地区予選 (4月24日～5月2日)
 (岩泉・山田・大槌連合として参加)
 1回戦 宮古商工高校 ● 4-14 (6回コールド)
 敗者復活戦 住田高校 ● 2-14

◆第103回全国高等学校野球選手権岩手大会 (7月11日)
 (岩泉・山田・大槌連合として参加)
 2回戦 花北青雲高校 ● 4-5



弓道部

◆令和3年度岩手県高等学校総合体育大会弓道競技県大会 (通信大会)
 男子個人 佐々木悠 (3年) 1中/8射
 女子個人 堀切川蘭羅 (2年) 5中/8射

◆第40回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
 男子団体 予選敗退
 女子団体 予選敗退 (ベスト13) 14中/36射
 男子個人 中坪 茄 (1年) 15中/36射
 女子個人 堀切川蘭羅 (2年) 1中/12射

◆第60回岩手県高等学校新人弓道大会宮古地区予選大会

男子団体戦 2位 14中/60射
 女子団体戦 2位 11中/60射
 男子個人戦 菊地華月 (1年) 4位 6中/12射
 女子個人戦 遠藤未羽 (1年) 1位 5中/12射
 堀切川蘭羅 (2年) 4位 3中/12射

◆第60回岩手県高等学校新人弓道大会 (1月13日～15日)
 男子団体 予選敗退 5中/40射
 男子個人 菊地 華月 予選敗退 1中/8射
 女子団体 予選敗退 8中/40射
 女子個人 遠藤 未羽 予選敗退 3中/8射

サッカー部

◆高田宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ岩手 I LEAGUE 2021 D3北 (令和3年4月17日～9月20日、葛巻町総合運動公園)

第一節 ● 岩泉・葛巻 0-2 久慈・久慈東
 第二節 ● 岩泉・葛巻 0-9 盛大附
 第三節 ● 岩泉・葛巻 1-3 盛農・スコール
 第四節 ○ 岩泉・葛巻 2-0 福岡・福岡工・大野

ソフトテニス部(男子)

◆第73回高総体ソフトテニス競技(5月29日)
 【団体戦】1回戦 本校 ● 0-3 ○ 盛岡第一

◆第66回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技(10月9日)
 【団体戦】1回戦 本校 ● 0-3 ○ 種市



◆第56回岩手県高等学校新人サッカー大会

(11月20日 大槌こどもグリーンフィールド)
 1回戦 ○ 岩泉・宮古商工 3-2 北上翔南
 2回戦 ● 岩泉・宮古商工 0-13 専大北上

ソフトテニス部(女子)

◆第73回高総体ソフトテニス競技(5月29日)
 【団体戦】1回戦 本校 ○ 2-1 ● 沼宮内
 2回戦 本校 ● 0-3 ○ 一関学院

◆第66回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技(10月9日)
 【団体戦】1回戦 本校 ● 0-3 ○ 盛岡北



ボクシング部

◆第73回岩手県高等学校総合体育大会ボクシング競技
 バンタム級 2回戦敗退 3年 吉田 陽稀
 RSC 2R 2分07秒



フェザー級 決勝敗退 3年 高屋敷彩南

RSC 1R 1分02秒

◆第62回岩手県高等学校新人大会ボクシング競技 第2部

バンタム級 準決勝敗退 1年 佐々木淑樹
 RSC 2R 1分37秒
 ミドル級 準決勝敗退 1年 皆川 大弥
 判定 0-5



バレーボール部(女子)

◆令和3年度(第73回)岩手県高等学校総合体育大会バレーボール競技(令和3年5月27日～31日)
 2回戦 岩泉 ● 0-2 金ヶ崎

◆第74回全日本バレーボール高等学校選手権岩手県予選会宮古地区予選(令和3年9月22日～23日)
 5校リーグ戦(予選通過 上位3校)
 岩泉 ● 1-2 宮古商工
 岩泉 ● 1-2 宮古水産
 岩泉 ● 不戦敗 宮古
 岩泉 ● 不戦敗 山田 0勝4敗 第5位

◆令和3年度(第69回)岩手県高等学校新人大会バレーボール競技

宮古地区予選(令和3年11月20日～21日)
 5校リーグ戦(予選通過 上位4校)
 岩泉 ● 0-2 宮古
 岩泉 ● 0-2 宮古水産
 岩泉 ● 1-2 宮古商工
 岩泉 ○ 2-0 山田 2勝2敗 第3位(県大会進出)

◆令和3年度(第69回)岩手県高等学校新人大会県大会バレーボール競技(令和4年1月21日～23日)
 岩泉 ● 0-2 北上翔南

バスケットボール部(女子)

◆第73回岩手県高等学校総合体育大会バスケットボール競技(令和3年5月27日)
 1回戦 ● 岩泉 43-70 盛岡誠校

◆第42回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会 宮古地区予選(令和3年度9月20日)
 1回戦 ● 岩泉 14-149 山田
 代表決定戦 ● 岩泉 35-114 宮古商工 予選敗退

◆第67回岩手県高等学校新人バスケットボール大会 宮古地区予選
(令和3年度11月3日)
1 回戦 ● 岩泉 31-131 宮古商工

◆第67回岩手県高等学校新人バスケットボール大会
(令和4年1月14日)
1 回戦 ● 岩泉 14-146 盛岡商業

陸上競技部

◆2021岩手県春季陸上競技大会 県営運動公園陸上競技場
(令和3年5月8日~9日)
日吉成生 200m 25秒25 400m 59秒93
片山裕哉 800m 2分11秒44
坂根涼雅 1500m 4分29秒67 5000m 17分09秒56
箱石航星 やり投 31m52 走幅跳 4m52
加藤彩心 200m 30秒45

◆第73回岩手県高等学校総合体育大会 北上総合運動公園陸上競技場
(令和3年5月20日~23日)
佐々木来羽 予選 200m 30秒86 1分15秒45
日吉成生 予選 200m 22秒29 400m 40秒00
工藤マイケル 予選 800m 2分29秒96 55秒00
三浦康誠 予選 1500m 5分00秒09
坂根涼雅 決勝 5000m 17分09秒56
片山裕哉 予選 800m 2分06秒21 5位
坂根涼雅 予選 1500m 4分30秒96 16分47秒58
箱石航星 予選 やり投 出場 5000m 15分00秒
加藤彩心 決勝 走幅跳 4m55 11位 16分47秒58
決勝 混合競技 10位

◆2021岩手県陸上競技選手権大会 北上総合運動公園陸上競技場
(令和3年7月2日~4日)
加藤彩心 走幅跳 4m49
加藤彩心 砲丸投 7m38
坂根涼雅 5000m 17分09秒56
坂根涼雅 5000m 17分23秒69
日吉成生・坂根涼雅・坂根涼雅・片山裕哉 4×400mR 3分45秒47



◆2021岩手県陸上競技選手権大会 県営運動公園陸上競技場
(令和3年7月24日~25日)
2部
坂根涼雅 3000mW 15分08秒57 2位

◆第74回岩手県高等学校新人陸上競技大会 北上総合運動公園陸上競技場
(令和3年9月10日~12日)
坂根涼雅 5000mW 26分57秒04 4位 東北大会出場
三浦康誠 5000mW 31分44秒53 8位
坂根涼雅 砲丸投 7m49 8位
日吉成生・館野生吹・三浦康誠・工藤マイケル 4×400mR 3分54秒09 11位

◆第46回岩泉町ロードレース大会
(令和3年10月30日~31日)
三浦康誠 3キロ 10分34秒 1位
工藤マイケル 3キロ 11分04秒

◆2021岩手県秋季陸上競技大会 県営運動公園陸上競技場
(令和3年10月30日~31日)
坂根涼雅 5000mW 25分59秒78 5位
三浦康誠 砲丸投 29分54秒99 8位
日吉成生 砲丸投 8m38 10位
日吉成生・館野生吹・三浦康誠・工藤マイケル 4×400mR 3分53秒86

卓球部

◆令和3年度高総体宮古地区予選卓球競技
男子シングルス
上家達矢 1回戦敗退 下屋敷裕利 3回戦敗退
箱石健一郎 1回戦敗退 佐々木陽大 2回戦敗退
八重樫海音 2回戦敗退 前川優雅 2回戦敗退
金澤瑞樹 1回戦敗退 河原登生 1回戦敗退
小野寺清流 1回戦敗退
男子ダブルス
八重樫・前川 2回戦敗退 金澤・上家 1回戦敗退
佐々木・箱石 2回戦敗退 小野寺・河原 2回戦敗退
下屋敷・太田屋 2回戦敗退
女子シングルス
橋本知美 敗者復活2回戦敗退 三上真桜 1回戦敗退
大下美涼 1回戦敗退 上館明香 県大会出場
上館和香奈 1回戦敗退 中田優夢 敗者復活1回戦敗退
女子ダブルス 中田・上館明 1回戦敗退
大下・橋本

◆第73回岩手県高等学校総合体育大会 卓球競技
男子学校対抗 1回戦 岩泉 0-3 一関一
女子学校対抗 1回戦 岩泉 0-3 軽米
女子シングルス 1回戦 上館明香 0-3 専大北上
女子シングルス 1回戦 上館明香 0-3 福岡

◆令和3年度岩手県新人大会
女子学校対抗 2回戦 岩泉 3-0 久慈東
女子シングルス 2回戦 岩泉 0-3 一関第一
女子シングルス 上館明香 2回戦敗退

◆第49回全国高等学校選抜卓球大会(個人戦)岩手県予選会
前川優雅 2回戦敗退 八重樫海音 2回戦敗退
太田屋 2回戦敗退

文化部活動報告

吹奏楽部
◆第59回岩手県吹奏楽コンクール沿岸地区大会 銅賞 7月3日(土)
◆令和3年度 岩手県アンサンブルコンテスト宮古支部大会
管打8重奏 銅賞 12月26日(日)

郷土芸能同好会

◆東京2020オリンピック聖火リレー(Urban) 岩泉町出発式
ウエルカムプログラム演奏 6月17日(木)
◆岩手県立博物館開館40周年記念特別展開演事業「高校性による郷土芸能特別公演」出演7月31日(土)
◆泉高祭演舞(岩泉高校) 10月1日(金)
◆第44回岩手県高等学校総合文化祭 郷土芸能部門発表会出場
優秀賞1席(北上市文化交流センター) 10月16日(土)
◆全国大会出場
◆花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2021(花巻市文化会館) 11月21日(日)
◆盛岡市木町市演舞11月27日(土)(盛岡市)
◆インド・マニプル州桜祭り2021(伝統舞踊団とのオンライン交流会(岩泉高校)) 11月30日(火)
◆第73回岩泉町成人式アトラクション演舞(町民会館) 令和4年1月8日(土)、9日(日)

【家庭クメン】

◆令和3年度岩手県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会地区大会(大船渡) 9月27日(月)
優秀賞 トメ子さんの生活と健康と生きがいを両立するために1年 遠藤未羽

総合文化部
◆第52回岩泉町民文化展 出演
◆校内演劇発表 演目「キョウダイ」 12月16日(木)、17日(金)

学生研究・意見発表会

高校生から広げよう。スマホと私。

一年B組 堀切川 蘭 羅
昨年は東日本大震災から10年、台風10号から5年という節目の年でした。岩泉町と防災という観点から私はこれからの10年後を見据えて、高校生ができることをKIZUKIプロジェクトを活用して探究しました。その提言を今回発表してきました。

内容については、私たちが常に持ち歩いているスマホに着目しました。防災アプリにある「Yahoo!防災速報」を高校生がダウンロードし、家庭内で普及活動を行うことで「そなえる」防災になることを提言しました。

今回の活動を通してスマホに防災アプリを入れておくだけで防災について意識が高まると思いました。自分の命はもちろんですが、家族の命も守れる行動や取り組みを少しでも広められればと思います。



郷土芸能同好会

中野七頭舞二〇二一

一年A組 上館 萌 香
私たちは三年生からの代替わり後、一年生九名、二年生十四名、途中入会の二名を加え二十五名で活動してきました。今年度も昨年度と同じく、新型コロナウイルスの影響により演舞する機会が多くはありませんでした。しかし、仲間や遠方から指導に来てくださるコーチとともに練習した内容はとても貴重なものとなりました。

県大会へは一・二年生のみで出場するため、私たちはコーチにご指導いただきながら、昨年に引き続き腰上げや足上げなど、舞の基本を何度も見直しました。これまで三年連続優秀賞二席(三位)と悔しい思いをしてきました。代々の先輩方が受け継いできた思いを胸に、今年こそはと意気込み臨みました。結果は優秀賞一席(二位)。

伝統芸能のバトンを渡してくれた先輩方、コーチ、応援してくれた家族や先生方本当にありがとうございました。これから私

ちは、岩泉町の中野七頭舞を全国に発信するため、さらに練習に力を入れ更なる高みを目指してゆきます。



東京2020オリンピック 聖火リレー 岩泉町出発式

聖火のつながり

三年A組 佐々木 愛 美
聖火リレーの代表者として選ばれた時、私はとても嬉しい気持ちになりました。そんな気持ちと共に、岩泉高校の代表者として全校生徒の思いと聖火をしっかりとつなげなければならぬという責任を強く感じました。聖火リレー当日、私はとても緊張していましたが、きっと人生で初めて最後の経験だと考えると全力で楽しまなければ！という気持ちになりました。実際に走った距離は校庭から校門までと短かったものの、私たちが走っているのを観客の方々が笑顔になっていたのが印象的でした。コロナ禍で様々な不安があり、人とのつながりも希薄となる中、聖火が希望の光であり、全国の人々の思いを一つにしてくれるものだと感じました。

オリンピックと聖火リレーが人とのつながりの大切さを示してくれたように感じます。このような貴重な機会に携われたことは私の誇りです。



部活動の活躍

東北新人陸上の出場権を得て

一年B組 坂 根 脩 雅
高校に入学して陸上で表彰台に上りたいと思い、競歩に取り組んできました。その競歩で県の新人大会で四位に入賞し、東北大会の出場権を得ることができました。しかし、表彰台へはあと一歩のところまで逃してしまいう形となりました。出場権を得ることはできませんでしたが実感もなく悔しさが残る大会となりました。しかし気持ちを切り替えて、東北大会に挑もうと思っていました。が、新型コロナウイルスという壁に直面し、東北大会自体が中止になり、不完全燃焼で一年目を終えることとなりました。ですが、一年目にこのような結果を出せたのは、陸上競技部に温かく迎えてくれた先輩や顧問で、インターハイ出場経験の照井先生、東北大会出場経験の小野先生との出会いなど、恵まれた環境の下で、すぐに競技に打ち込めたのが一番大きいと思います。今後の目標としては、三年生でインターハイに出場できるように、練習に励んでいきたいと思っています。



令和3年度 同窓会年会費納入者一覧

(令和3年2月1日～令和4年1月31日納入分まで)

Table with 8 columns: Name, Amount, Name, Amount, Name, Amount, Name, Amount. Lists members and their contribution amounts for the 2021 fiscal year.

6,000円(令和2年度分) + 270,000円(令和3年度) = 276,000円

会費納入の御協力、本当にありがとうございます。

掲載に際しては十分注意しておりますが、お気付きの点がありましたら事務局までお知らせください。

令和3年度 同窓会役員

Table with 4 columns: Position, Name, Year, Position, Name, Year. Lists the board members and their terms for the 2021 fiscal year.

学校HP随時更新中

右のQRコードを読み取るとアクセスできますので是非ご覧ください。



HP



校歌

同窓生の活躍

郷土芸能同好会コーチ

平成2年度卒

佐藤 昌 幸さん



中野七頭舞同好会 全国大会出場に寄せて

同窓会の皆様におかれましては、新しい年を晴れやかにお迎えのこと、お喜び申し上げます。

この度、日々の鍛錬の成果が実り中野七頭舞同好会は、全国大会という大舞台を踏む事となりました。同好会一期生として、又、指導者として誇らしく、感慨深い思いです。常日頃から、温かく見守り、ご支援、ご理解頂いている父兄の皆様、地域の皆様、先生方に厚く御礼申し上げます。

中野七頭舞同好会は、昭和六十三年

に私達が一期生としてスタートしました。あれから約三十年間も生徒達が大切に引き継いで活動してくれています。

私事になりますが出身は、岩泉町小本になります。現在、盛岡市内のホテルに勤務し郷里の岩泉を離れ紫波町で暮らしております。約三年前から同好会のコーチとして参加していま

す。前任の山本コーチの下、二日程一緒にやらせてもらい山本コーチ勇退の後、同好会を任されて指導して来ましたが、そこから二年間は全国大会への切符は手にする事が出来なく悔しい思いをしました。更に昨年は、コロナ禍という事もあり、自分なりにどう教え伝えれば生徒達が理解してくれるだろうと思ひ悩みましたが、ここは基本に戻り、原点復帰して再度一から踊りを見直す事にしました。腰を落とす、足を上げる、道具を見る、かけ声をしっかりと出す。本当に基礎から取り組み厳しい練習の中でも必死に生徒達は着いて来てくれました。

昨年の十月十六日、北上市さくらホールで、無事に岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会が行われました。今回の発表は例年とは違い二年生と一年生みのメンバー構成で挑む事になりました。今回の参加校の中で唯一、三年生が参加していないのは岩泉高

校だけでした。前日からのリハーサル、やはりコロナ禍で公演する機会が少なく、大きい舞台での発表となると緊張で練習とおりの踊りが舞えなくかけ声も出ない、このままでは、と嫌な思いが過ぎりましたが、何度か繰り返しリハーサルしていく内に払拭されました。

翌日の十月十六日、全国大会へ向けての発表がいよいよ始まりました。コロナ禍の為、他校の発表は見る事が出来なく発表の順番を待つ間が何とも言えない時間です。生徒達もしっかり衣装をまとい緊張の中にも晴やかな面持ちで今か今かと心躍らせている様でした。いよいよ岩泉高校の発表です。同好会会長の挨拶が終わり、太鼓の音で幕が上がりました。約十二分間の踊りはあつと言う間に終わります。この十二分の為に生徒がどれだけ頑張ったかと思うと舞台の袖から見えていた私も知らぬ間にかけて声をかけていました。持っている力以上の踊りが出来たと生徒達も思っていた様です。結果は、ご承知かと思いますが、優秀賞一席で全国大会への切符を手にする事が出来ました。

最後に、コロナ禍の現在、地元だけに根ざした芸能としてだけではなく、高校生が全国の舞台上で演じ継ぐ事は、地域の人や郷里を離れた人達皆さんの誇りだと思えます。是非、感謝の気持ちを忘れずに、これからも素晴らしい演舞を続けて欲しいと思います。

